

令和4年度 朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（春季）

朝日庄内森林生態系保全センターでは朝日山地を保全管理するため、巡視活動や様々な保全活動に従事しておりますが、広大な朝日山地をセンター職員だけで見回り、保全管理することは到底できません。そこで、朝日山地に関係の深い団体から、巡視員としてボランティアにより活動していただいております。

今年度も夏山シーズンを迎え、本格的な巡視活動の時期に入ることから、7月2日（土）、鶴岡市朝日中央コミュニティセンター（すまいる）において朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（春季）を開催しました。



会議風景

会議は、出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会、山形県内水面漁業協同組合連合会、鶴岡市朝日庁舎、環境省羽黒自然保護官及び国有林職員（東北森林管理局、関係各森林管理署及び朝日センター）により行われました。

開会に先立ち東北森林管理局富岡計画課長（代読）から「本格的な夏山シーズンを迎え、広大な朝日山地の保全管理には森林管理署等の巡視とともに、ボランティアの皆様のご協力が不可欠、本日の会議を通じて意見交換、情報交換を図りより効果的な巡視活動に活かしていただきたい。」との挨拶がありました。

事務局からは、今年度の巡視活動計画、看板の保守、モニタリング調査報告、スノーモービル乗入状況、朝日自然塾及びニホンジカに関する報告等がなされました。

巡視員からは、「スノーモービルの乗入状況について」「ニホンジカについての情報共有」「モニタリング調査について」「泡滝コースの吊り橋の破損状況」及び「クマの目撃情報」等活発な議論がなされました。

また、環境省より、朝日山地における保全作業の活動予定について情報共有を図りました。



会議風景（質疑応答）

最後に、朝日センター中嶋所長から「今シーズンも安全第一で巡視活動を行い、巡視員の皆さんが関心をもっている事柄、自然の変化等に関する多数の情報をお寄せいただきたい」との閉会の挨拶により終了となりました。